

財政再生計画の平成21年度実施状況	2
住民説明会	4
水道事業会計の状況(平成22年度上期)	6
10月からインフルエンザ予防接種を実施しています ...	7



橋に思い出の記念の落書き

10月16日 建設中の高速道路で国道274号にかかる「夕張のぞみ橋・夕張きぼう橋・夕張みらい橋」の連結を記念して渡り初めとウォーキング大会が行われた。3つの橋の名づけ親となった藤井和葉さん(のぞみ小4年)と両親、祖父母、曾祖父の4代の家族と市内小中学生など250人が参加した。

途中、のぞみ橋中央付近では、舗装前の路面に記念の落書きをした。

財政再生計画の平成21年度実施状況

夕張市は、平成22年3月に総務大臣の同意を得て財政再生計画をスタートさせました。平成21年度の実施状況をお知らせします。

計画と具体的な措置の状況

事務と事業の見直し、組織の合理化その他の歳出削減に関する状況

(1)～(8)の措置による削減効果額は32億1千6百万円でした。

(1) 人件費

全会計の職員数は、平成21年4月現在で147人、これを計画どおり年度未まで維持しました。

一般職給与は、国家公務員準拠を原則とした上で、給料月額が平成18年度と比較し平均30%削減したほか、諸手当については計画どおりの削減を行い、また、特別職給与や議員報酬、非常勤特別職報酬についても計画どおりの削減を行いました。

こうした削減措置を講じた上で、退職手当の執行額が見込みを下回ったことなどから、総人件費は計画に比べて

減額となりました。

(2) 物件費

賃金や旅費、需用費、委託料、備品購入費などの物件費は、計画どおり経費の削減に努めたほか、契約事務の適正化に努めることによって、計画に比べて減額となりました。

(3) 維持補修費

各種公共施設や公営住宅などに要する管理経費などの維持補修費は、計画どおり経費の削減や契約事務の適正化に努めたほか、国の補正予算に伴う交付金を活用して修繕を実施しました。また、少雪のため除雪経費が見込みを下回ったことなどから、計画に比べて減額となりました。

(4) 扶助費

扶助費は、計画どおりの措置を講じ

たほか、生活保護費などにおいて計画で見込んでいた対象人員や給付単価などが見込みを下回ったことから、計画に比べて減額となりました。

(5) 補助費等

各種補助金などの補助費等は、計画どおり経費の削減に努めたほか、債務負担行為による損失補償金の一部繰上償還を実施し、後年次負担の軽減を図りました。

全国から寄せられた指定寄附などを財源として、市民活動を促進するための助成事業を実施しました。

(6) 投資的経費

平成22年4月に統合した清水沢中学校校舎改修や土地開発公社が所有する土地の計画的な買戻しなど、必要性や財源について十分な検討を行い実施し、計画どおり経費の削減に努めました。国の補正予算に伴う交付金を有効に活用し、必要な事業を実施しました。

(7) 公債費

公債費は、平成22年3月に借入した再生振替特例債を財源として、北海道から借り入れていた一時借入金の償還を早期に行うことで利子の軽減を図ったほか、後年次利子負担の軽減を図る

ための借換えを実施しました。

(8) 他会計繰出金

他会計繰出金は、計画どおりの繰出しを実施しました。

地方税その他の収入の増徴に関する状況

次の措置による効果額は2千2百万円でした。

市税その他の収入の徴収にあたっては、計画どおり合理的な計画徴収に努めました。

地方税その他の収入で滞納に係るものの徴収に関する状況

次の措置による効果額は7百万円でした。

税や使用料などの滞納者に対しては、財産調査の範囲を広げ、預金や年金に加えて給与の差押えを実施しました。市営住宅使用料は、滞納者への督促を徹底するとともに、督促に応じない悪質滞納者には法的措置を講じることとし、3人の明け渡し訴訟を提訴しました。(3人とも明け渡し強制執行が実施されました。)

使用料などの変更、財産の処分その他の歳入の増加に関する状況

次の措置による効果額は7千1百万円でした。

使用料と手数料は、平成19年度に実施した引き上げなどの見直しに基づき、引き続き収入確保に努めました。

インターネットによる市有財産売却を4回実施し、宅地や鉱石などを売却しました。

市庁舎の有効活用として、1階スペースの半分を金融機関に店舗として有償貸与しました。

財政再建関係の視察の有料化や公用車・公用封筒・ホームページを広告媒体として活用し、収入の確保に努めました。

超過課税または法定外普通税による地方税の増収に関する状況

次の措置による効果額は5千2百万円でした。

市税は、法令上の上限の税率などを踏まえ、平成19年度に行った見直しを継続して実施しました。

その他財政の再生に必要な事項の措置の状況

財政再生計画策定に際して、平成22年2月に、11項目にわたる「財政再生団体（夕張市）に対する国の支援策についての提案・要望」を民主党北海道

総支部連合会へ提出いたしました。

本市としては、引き続きその実現を働きかけるとともに歳入の確保と歳出の削減を図り、計画期間の短縮を目指すこととしております。

近年、観光・食品関連、農業関連の企業進出が相次いでいるところであり、平成21年度には、(株)花畑牧場やツムラ(株)が本市に進出していただきました。

本市としては、今後とも積極的な企業誘致を進めるとともに、地場産業の振興を図ること、定住人口の増加と地方税の増収などに努め、地域経済の活性化を図ることとしております。

夕張市の再生のためには、市民、議会、行政が一体となって取り組むことが欠かせないことから、財政再生計画の策定にあたって、市内6ヶ所でそれぞれ計3回にわたる住民説明会を開催しました。

本市としては、今後とも情報公開の推進による透明性の高い行政運営に努めるとともに、市民参加や民間活力の導入など、市民・企業との協働による活力のあるまちづくりを目指すこととしております。

計画額と実績額の比較と再生振替特例債残額の状況

【一般会計+診療所事業会計】

(単位：千円)

区分	平成21年度 計画額 ア	平成21年度 実績額 イ	差引増減 (イ - ア)	主な増減理由
歳入	42,955,891	42,948,800	7,091	地方税（固定資産税、市民税など）42百万円、特別交付税139百万円、国庫支出金（生活保護費負担金など）115百万円、地方債（義務教育施設整備事業費）43百万円、財産収入（市有財産売却収入など）30百万円
歳出	42,955,891	42,524,083	431,808	人件費(各種手当など) 42百万円、物件費(需用費、委託料など) 89百万円、維持補修費(市道除排雪など) 104百万円、扶助費(生活保護費など) 296百万円
差引額	0	424,717	424,717	
再生振替特例債残額	32,199,000	32,199,000	0	

健全化判断比率の状況

(単位：%)

区分	早期健全化 基準	平成21年度 計画値	平成21年度 実績値	(参考)平成20 年度実績値
実質赤字比率	15.00	0.00	0.00	703.60
連結実質赤字 比率	20.00	0.52	0.00	705.67
実質公債費比率	25.0	36.9	36.8	42.1
将来負担比率	350.0	1,094.2	1,091.1	1,164.0

再生振替特例債（平成21年度借入）借入額 32,199,000千円
利率など 17年償還（3年据え置き）元利均等 年1・50%
（注）平成20年度決算まで生じていた実質赤字額は、平成21年度に再生振替特例債を借り入れたことで解消しました。再生振替特例債は、財政再生計画で平成22年度から17年間で計画的に償還するものです。

問合せ先 市行財政管理グループ ☎ 52 - 3122

住民説明会

本年3月総務大臣より同意された「財政再生計画」策定後、住民説明会を10月18、23日、開催しました。
法の下での行政運営は4年目となりましたが、新しい計画では地域の再生と財政の再建に向けた取組みを掲げ、引き続き市民のみなさんのご意見を聞きながら計画を進めて参ります。ここでは、説明会で市から説明した内容についてお知らせします。

財政再生計画の取り組みと今後の懸案事項

平成21年度の計画の実施状況
【一般会計などの収支の状況】

(単位：百万円)

区分	計画額	実績額	比較	主な増減要因
歳入	42,956	42,949	7	国・道支出金 115 地方債発行額の減 43 特別交付税の増 139
歳出	42,956	42,524	432	人件費の減 42 維持補修費の減 104 扶助費の減 296
実質収支額	0	425	425	

健全化判断比率の状況

(単位：%)

	20年度	21年度(計画初年度)			早期健全化基準	説明
	実績	計画値	実績	比較		
実質赤字比率	703.60	0.00	0.00	0.00	15.00	特例債借入により解消
連結実質赤字比率	705.67	0.52	0.00	0.52	20.00	一般会計繰出しにより下水道会計の赤字解消
実質公債費比率	42.1	36.9	36.8	0.1	25.0	
将来負担比率	1,164.0	1,094.2	1,091.1	3.1	350.0	

(単位：百万円)

	20年度	21年度	比較	説明
実質収支	33,323	520	33,843	
市債元金残高	15,192	46,859	31,667	長期借入金に係る償還分
債務負担残高	5,780	4,547	1,233	後年次支払することで約束した経費
計	54,295	50,886	3,409	再生振替特例債32,199
基金残高	283	273	10	一般的にいう預貯金
差引額	54,012	50,613	3,399	

【平成21年度末将来負担等の状況】

平成22年度の計画の主な事業

- ・ 民生生活関係
- ・ 容器包装廃棄物の分別収集
- ・ 地上デジタル放送への移行福祉関係
- ・ 緊急通報システム電池交換

- ・ 敬老バス事業の継続と負担見直し
- ・ 学童保育継続実施
- ・ 教育関係
- ・ 小中学校の統廃合
- ・ 幼稚園の運営継続
- ・ 図書コーナー図書検索システム整備

△整備

- ・ 消防・防災関係
- ・ 消防車両の更新
- ・ 産業・経済関係
- ・ 農山漁村活性化プロジェクト
- ・ 支援交付金事業の実施
- ・ 住宅・都市計画関係
- ・ 市営住宅再編事業
- ・ 都市計画マスタープランの作成
- ・ 市営住宅での地上デジタル放送の受信

行政執行体制の確保

財政再生計画の策定に伴い、様々な懸案事項を処理すべく、当初計画に反映する事務事業の内容を市民の皆さんとともに検討、協議を実施しました。

この懸案事項の一つに「行政執行体制の確保」がありました。市としては、平成18年度末に大量の職員退職により、行政組織が半減以下となったことを踏まえ、道職員や他自治体職員の応援を受けながら、これまで行政運営に取り組んできました。しかし、本年度末をもって道職員以外の派遣職員が帰任され皆無となることから、「今後の体制確保をどう図っていくべきか？」という問題に直面しています。

今後の行政運営はもとより、市民サービスの低下を招かないようにすることや地域再生に向けた様々な事務事業を円滑に推進していくために、最低限の体制確保が急務であり、財政再生計画策定に伴い、国や道とも協議を重ねてきました。結果的に次の「原則」の中で十分な体制確保を計画に反映することができませんでした。

◆財政再生計画における行政(職員)体制について

「人口規模が同程度の全国市町村の中で、最も少ない職員数とし行政機構の効率化を図ること」が計画の原則。

一方、これらの原則に照らし合わせて、市として次のような考え方に立ち、協議を進めてきましたが、結果的にそれが計画に反映できなかった側面がありました。

大説明会



① 地域の特性（過疎高齢化地域であることや行政面積が広大であること、積雪寒冷地であることなど）を踏まえ、全国一律で職員数を検討していくことは困難性があるのではないかと。② 現状からして、北海道をはじめとする他自治体からの人的支援で、行政組織が維持されているのが実態であり、このままでは将来にわたっての安定的な行政運営を図っていくことが困難である。従って、人材育成を含め体制構築を早期に図る必要がある。③ 大量の職員退職によって失われた業務のノウハウを早期に養成していかねばならず、引き続き北海道や他自治体からの支援を要請するとともに、一定の職員採用を年次毎に認めて欲しい。

前倒し措置による職員採用

財政再生計画では、「全国最低の体制水準」を基本とし、今後の定年退職者数の約半数を新規採用によって、補充していくものとなっていますが、「遠い将来における職員採用」ではなく、「来春（平成23年度）以降の体制確保」が今重要です。今回、将来において採用しようとする職員数を来年度に一定程度の職員採用を行い、計画の前倒し措置をしようとするものです。計画自体の職員数を増員するものではありません。

なお、この計画の前倒し措置によって、生じる必要な財源は今後16年間で約1億5千万円と試算しています。単年度に置き換えると年間約950万円程度の財源が必要となります。これは更なる経常経費の節減努力や入札執行残などによる自助努力の中から捻出可能と判断しています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

【主な意見・要望】

再生計画について、小学校1
児童保育について、小学校1

校になり現在2箇所開設して指導員が4人いるが、今後は何人の指導員となるのか。来年から現在の清水沢小学校に児童保育が併設されるが、帰宅時の父母の迎えについて、どのような対応をしようとしているのか。

児童生徒の通学について、路線バスを利用しているが、待合所が少な過ぎるのではないかと。新診療所の建設位置は、南清水沢地区との新聞報道があったが、間違いないか。

新診療所では、新たな指定管理者の公募を行うのか。水道事業のPFI（公共事業に民間資金を取り入れる手法）事業はどの程度進んでいるのか。水道事業をPFI（前出）活用して行う場合、民間委託となれば採算が合わない時は、水道料金に跳ね返るのではという不安がある。

新しい診療所の際、改めて公募することに賛成する。平成19年の時とは事情が違う。市民に役立つ診療所であることを協定書に盛り込んで欲しい。選定については透明性を確立して欲しい。

再生計画について、変更が出

てきた場合は、堂々とやって欲しい。こう言う交渉をしたけど、結果的にこうなったと言う事を市民に伝えることで力が沸いてくるのではないかと。

新診療所もPFI（前出）事業でできないか。行政体制の確保について職員の新採用については、採用しても1〜3年では戦力にならないのではないかと。

採用する事には賛成する。市職員のOBを活用して新人を育成すべではないか。給与水準が改善されなければ応募者はいないのでないか。働く以上将来を考えてくれると思うが。

市職員は今でも忙しい仕事をしている。人数が足りないのであれば補充しなければならぬ。是非補充して欲しい。職員の健康管理について、在職中に死亡した職員がいると言うことなので、職員の健康管理はしっかりやって欲しい。

住民サービスを支えていた派遣職員がいなくなることであれば、職員の前倒し採用を是非やって欲しい。

計画によると平成30年度から

消防職員が減っているがどうしてか。職員採用の場合は、高校生も募集対象にして欲しい。

それぞれの自治体の事情により職員数を決めるべきで、人口だけで人員の比較をすべきでない事を国に強く主張すべきではないか。

説明会に参加する市民が少なく、市職員が多いので威圧感を感じて意見を言えない人もいるのではないかと。説明会に多くの市民に参加してもらったための工夫が必要ではないか。当日配付する資料を事前に町内会などに配布する取り組みはできないか。

説明会の会場設定について、車座形態の方が意見も出やすくスムーズにいくのではないかと。市民は個々に色々な能力、経験を持っている。行政側から市民に協力が必要なものはお願いすべきではないか。協力できるものは協力する。

今回のような住民説明会を毎年開催して欲しい。財政の説明はわかりづらいので工夫すべき。

で工夫すべき。

水道事業会計の状況 (平成22年度上期4月から9月)

【配水施設整備事業】

この事業は円滑な給水を行うため、配水管などの施設を整備するものです。今年度は南清水沢3丁目の配水管の改良工事、昭和第2配水池等場外施設の機器更新を予定しています。

【夕張市上下水道第8期拡張事業】

この事業は来年度から実施する夕張市上下水道第8期拡張計画に係るPFI事業について、PFI事業として導入可能性調査一式を委託するものです。

【メーター更新事業】

この事業は有効期限の満了となる水道メーターを交換するものです。今年度は市内全域868個の交換を行います。

【水質検査】

市民の皆さんに安全で良質な水を飲んでいただくため、毎月定期的に各浄水場と各地区の給水栓の水質検査を実施していますが、いずれも異常はありませんでした。

問合せ先 市上下水道グループ
☎ 52 3152

経理の状況 平成22年9月30日現在

区分	執行済額
給水のための収益的収支	
収益的収入	200,436千円
収益的支出	63,398千円
配水施設などを整備するための資本的収支	
資本的収支	0千円
資本的支出	101,874千円

2. 資産の現在高 5,454,480千円

3. 企業債の現在高 1,438,164千円

配水状況 平成22年9月30日現在

総配水量	日平均水量
807,025m ³	4,410m ³

給水状況 平成22年9月30日現在

1. 給水件数と給水人口

件数	人口
5,758件	11,046人

2. 用途別使用水量

種別	使用水量m ³	構成比%
家事用	344,348	54.3
業務用	178,354	28.1
浴場用	59,463	9.4
臨時用	663	0.1
特別計量	51,871	8.2
計	634,699	100.0

平成21年度水道事業会計決算の状況

水道事業会計損益計算書

(単位：円)

借方		貸方	
営業費用	233,365,506	営業収益	381,625,744
営業外費用	50,723,201	営業外収益	16,714,945
当年度純利益	114,251,982		
合計	398,340,689	合計	398,340,689

水道事業会計貸借対照表

(単位：円)

借方		貸方	
有形固定資産	5,229,250,015	固定負債	59,099,830
無形固定資産	283,120	流動負債	150,925,976
流動資産	166,063,321	資本金	2,154,410,597
繰延勘定	5,803,040	剰余金	3,036,963,093
合計	5,401,399,496	合計	5,401,399,496



藤倉市長(左)から記念品などが贈られました。西村さん(中央)と須藤さん(右)

長寿をお祝い

来年3月までに100歳を迎える長寿の方に贈られる内閣総理大臣からの祝状と銀杯の記念品の贈呈が9月21日に行われました。

今年の対象の方は、5人。西村キヨさん(99歳)、須藤ミキさん(99歳)、重山スミエさん(99歳)、杉山よしゑさん(99歳)と他に1人の方に祝状と記念品が贈られました。

西村さんは「うれしい」、須藤さんは「長生きして良かった」と話してくれました。9月30日現在、夕張市には百歳以上の長寿の方は8人います。

10月からインフルエンザ予防接種を実施しています

予防接種は、ご自身の判断で希望される方が対象です。

昨年の新型インフルエンザの流行を踏まえて、今年度は市民全員を対象に予防接種を行っています。

実施期間 平成23年3月31日まで(事前予約が必要ですので、医療機関に直接申し込みください。)

接種回数 13歳以上：1回(医師が特に必要と判断した場合は2回の接種)
13歳未満：2回

実施場所 市内・市外の医療機関

65歳以上の方は原則市内の医療機関となりますが、市外の医療機関入院や施設入所、定期通院の場合は、市外でも接種できますので市保健介護グループにご相談ください。

接種料金(自己負担)

①市内の医療機関で接種する場合 (詳細は各医療機関にお問合せください)	・課税世帯の64歳以下の方 (助成制度なし)	2,500円(2回目は各医療機関にお問合せください)
	・課税世帯の65歳以上の方 (助成制度により)	1,200円(2回目は2,500円)
	・非課税世帯と生活保護受給世帯の方(助成制度により)	無料
②市外の医療機関で接種する場合	・接種料金が異なりますので各医療機関にお問合せください。 ・市内で接種する場合に比べて、自己負担が増えたり、無料にならない場合があります。	

**ワクチンは
季節性インフルエンザと
新型インフルエンザの
両方に効果があります**

持参するもの 健康保険証 身体障害者手帳(下記 1の対象者のみ) インフルエンザワクチン接種費用助成証明書(対象者は下記 2の方。証明書の発行には事前の申請が必要ですので印鑑を持参ください。証明書申請先：市福祉課、南支所、各ふれあいサロン)

- 1 接種日現在、60歳以上65歳未満の課税世帯の方で、心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害(身体障害者手帳1級程度)がある方は、課税世帯の65歳以上と同額となります。
- 2 非課税世帯と生活保護受給世帯の方で、市内・市外の医療機関で接種する場合。課税世帯の65歳以上の方で市外の医療機関で接種する場合。 1対象者で市外の医療機関で接種する場合。

予防接種の詳細や助成制度については、広報10月号の折り込みをご覧ください。

問合せ先 市保健介護グループ ☎52-3107



小学校6校の校旗が各校の児童代表と校長から小林教育委員長に返還されました。

小学校6校合同閉校式
10月17日、来年度から小学校が1校体制になることから、小学校6校の合同閉校式が文化スポーツセンターで行われました。
会場には、6校の全児童291人と職員、父母など540人余りが参加しました。
ビデオで小学校の歴史が紹介され式典が始まりました。児童らは各学校行事の思い出を「よびかけ」で発表し、全児童による合唱を披露し、最後に各校の児童の代表と校長から校旗の返還により閉幕しました。
最盛期には、市内の小学校は22校分校1校、中学校は9校で、27、000人を越える児童生徒がいました。
来年4月からは新たに「ゆうばり小学校」が開校します。

平成23年度市職員（一般職）採用試験

募集内容 事務職員

受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた方

大学、短期大学、高等専門学校、高等学校卒業した方、または平成23年3月卒業見込みの方

採用人員 若干名

採用予定 平成23年4月1日

応募期限 平成22年11月19日

（郵送の場合は、11月19日消印有効）

試験日 12月5日（日）

試験科目 一般教養、小論文
 応募方法 履歴書、卒業証明書（卒業見込証明書）、成績証明書、返信用封筒（返信先を記入し80円切手を貼ったもの）を添えて市総務グループ（本庁舎4階）に持参、または郵送してください。

申込・問合せ先 市総務グループ

☎52 3170 または市ホームページをご覧ください。

幼稚園教諭

（嘱託職員）を募集

募集内容 幼稚園教諭

受験資格 昭和36年4月1日

以降に生まれた健康な方

幼稚園教諭の資格を有する方（本年度取得見込みを含む）
 市内居住者で通勤可能な方
 報酬金額 136,600円（月額）

勤務時間 午前8時～午後4時
 （土・日曜日、祝日、年末年始は休日）

勤務先 夕張市立ユーパーク幼稚園（南清水沢4丁目）

採用人員 1人（嘱託職員）

採用予定 平成23年4月1日

応募期限 11月15日（郵送の場合、11月15日消印有効）

応募方法 市販の履歴書に必要な事項を記入し、資格を確認できるものを添えて、市総務グループ（本庁舎4階）に持参ください。
 試験日 面接試験（日程は別途通知します）
 問合せ先 市総務グループ
 ☎52 3170

夕張市都市計画マスタープラン策定委員会の開催

今後の新しいまちづくりの指針となる「都市計画マスタープラン」策定のための第1回委員会を開催します。

委員会は公開で行いますので、市民の方は傍聴できます。

今回の委員会での審議内容
 都市計画マスタープラン策定の進め方 夕張市の現状と課題 まちづくりについての想い

とき 11月18日 午後6時～8時

ところ 市民研修センター

問合せ先 市農林建設グループ

☎52 3162

事務担当者の皆さんへ
 年末調整等説明会

年末調整等事務説明会を開催します。

とき 11月25日 午後2時～3時30分

ところ 市民研修センター

当日は事前に各事業所に郵送された必要書類を持参ください。
 問合せ先 市税務管財グループ

☎52 3120

石炭博物館のあり方検討委員会

委員会は傍聴できます。
 とき 11月11日、16日、24日
 午前9時30分～11時30分
 ところ 市本庁舎4階

問合せ先 市地域再生グループ
 ☎52 3141

そよ風通信

40歳からの介護予防・・・①

今回は、あまり聞き慣れない言葉「ロコモティブシンドローム」（運動器症候群）について紹介します。

これは、骨や筋肉、関節などの運動器の障害によって要介護状態になっている、または、要介護になるリスクが高い状態のことです。略してロコモと呼ばれます。

ロコモの最大の原因は、加齢です。ですから誰にでも起こる可能性があります。また、長年の運動不足によって筋力や持久力が低下することも原因となります。

- 階段を上がるのに手すりが必要である
- 15分くらい続けて歩けない
- 2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難である（1階の牛乳パック2個程度）
- 家のやや重い仕事で困難である（掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど）

一つでも当てはまればロコモの可能性があります。あくまでも自分の状態に気づき、早期に対処する事が大切です。ロコモが始まっていても、ケアをしながら上手に使用すれば悪化を防ぎ、関節などの運動器を長く使い続ける事ができます。

ロコモチェックを

40歳以上の人は
 次の項目で日常生活の中で思い当たるものはないか
 チェックしてみましょう。

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 横断歩道を青信号で渡りきれない

保健師 馬淵知美

人権擁護委員に高橋勝雄氏

5人の人権擁護委員のうち、9月末で任期満了を迎えた永井正巳氏の後任に、新たに高橋勝雄氏(63歳)が法務大臣から委嘱されました。

人権擁護委員は、人権に対する市民の相談窓口です。気軽に相談ください。

人権擁護委員の紹介

本間輝子氏(末広1丁目) ☎52 4739) 矢野雅昭氏(常盤 ☎52 3858) 奥山範子氏(紅葉山 ☎58 3405) 平村美千子氏(南清水沢4丁目 ☎59 3342) 高橋勝雄氏(新任 清水沢2丁目) ☎59 4705)

問合せ先 市市民保険グループ

☎52 3104

平成23年度入校生募集

北海道障害者職業能力開発校では、求職中(新規学卒者含む)の障がい者の平成23年度入校生(訓練期間1年または2年間)を募集します。

受付期限 11月20日

応募・問合せ先 北海道障害者職業能力開発校(砂川市焼山60番地) ☎0125 52 27

74またはハローワーク張

☎52 4411

女性の人権ホットライン開設

11月15日~21日まで「女性の人権ホットライン強化週間」として、特設電話相談所を開設します。女性に対するあらゆる相談に応じます。

とき 11月15日~21日
平日 午前8時30分~午後7時
土曜・日曜日 午前10時~午後5時
対応者 女性の人権擁護委員と法務局女性職員
☎0570 070 810

父子家庭への児童扶養手当の申請受付

父子家庭への児童扶養手当は、8月1日から支給されています。7月31日までに受給要件に該当している方で、まだ申請を済ませていない方は早めに手続きをしてください。

申請期間は、特例として8月から児童扶養手当が受給できる申請期限は、11月30日までとなっています。これを過ぎると請求のあった

翌月からの受給となりますので、早めに申請してください。

申請・問合せ先 市生活福祉グループ ☎52 1059

夕張市成人祭のご案内

主催 夕張市成人祭実行委員会
とき 平成23年1月9日午後2時(受付午後1時)
ところ 清水沢地区公民館(清水沢宮前町)
対象者 平成22年4月2日~平成3年4月1日までに生まれた方
市内に住民登録がある方、市外在住ですでに受付されている方には12月10日ごろまでに案内状を送付します。

期日までに案内状が届かない方、住民登録が市外にある方で成人祭への出席を希望する方は12月15日までに連絡ください。
問合せ先 市教育グループ ☎52 3166

図書まつり

とき 11月6日 午前9時~午後9時(午後4時からカルチャーナイトを開催)
ところ 市図書コーナー
ゆうばり生涯学習推進プロジェクト
時間 午前10時、午後2時30分
・工作、塗り絵、折り紙などがちやる
時間 午前11時
・藤田春義さんの積み木パフォーマンスショー
ひなたBOOK
・平野美和子さんの語り
時間 午後2時(子ども向け) 午後7時(大人向け)
その他 童歌、おはなし会、ピアノの調べなど

問合せ先 市図書コーナー ☎56 6601

幸福の黄色いハンカチ基金助成事業決定(平成22年度下期分)

「幸福の黄色いハンカチ基金」からの市民団体に助成する事業平成22年度下期分が決定しました。青少年健全育成事業(夕張市青少年育成協議会)

ここから夕張ミニバレーボール大会(ここから夕張ミニバレーボール実行委員会)

バンクーバーオリンピック女子ボブスレー日本代表松野真奈美選手講演会(夕張市立清水沢小学校PTA)

夕張の自然・環境保護に関するセミナー(夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク)

子どもかるた推進事業(夕張歌留多愛好会)

夕張ジュニアサッカークラブ(夕張ジュニアサッカークラブ)

秋の市民文化祭事業(秋の市民文化祭実行委員会)

幼児・小学生スキー教室(夕張スキー連盟)

地域シネマフォーラム(特定非営利活動法人ゆうばりファンタ)

夕張太鼓保存会「竜花」活動運営(夕張太鼓保存会「竜花」)

ア・リーサダフットボールクラブ育成及び障がい者支援事業(ア・リーサダフットボールクラブ)

夕張ジュニアスキーチーム(トータルスキーオガナイス) 問合せ先 市地域再生グループ ☎52 3141

北海道最低賃金

最低賃金 時間額

691円

効力発生日

平成22年10月15日

地デジ完全移行まであと1年を切りました

地上デジタル放送中継局の開局
 ◎清水沢中継局（平成21年12月開局）
 ◎真谷地中継局（平成22年9月開局）
 ◎新千代田中継局（平成22年10月開局）

新千代田デジタル中継局は、市営球場横（鹿の谷山手町）に新設されました。デジタル波を視聴するためには、現在アナログ電波を発信している常盤から鹿の谷山手町にアンテナの向き

こどものへや



小西 蓮ちゃん
 平成19年11月22日生まれ
 千代田

父・俊さん 母・福さん

このコーナーに掲載する乳幼児の写真をお待ちしています。

●送り先 総務グループ(☎52-3170)

を変える必要があります。
 問合せ先 デジサポ道央(札幌)
 平日9時～21時 土日祝日9時
 ～18時 ☎011-351-1155

ゴミの不法投棄は止めましょう

これから降雪の季節に入り、電化製品などの不法投棄が増える時期でもあります。
 特に来年の地デジ移行に伴いテレビなどの不法投棄が増えることが予想されます。テレビ、冷蔵庫、洗濯機などは家電リサ

イクル法に基づき適正に処分しなければなりません。処分については、家電の取り扱い店に相談ください。

不要になったからといって物を不法に捨てることは法律に触れる重大な犯罪です。自然豊かな夕張の景観を害するばかりでなく、人の健康にも害を及ぼす恐れがあります。

必ず定められた場所と方法でゴミを出してください。
 問合せ先 市環境生活グループ ☎52-3108または夕張警察署 ☎52-0110

心配ごと巡回相談

とき 11月5日 午前10時～午後2時
 ところ 南部コミュニティセンター
 問合せ先 社会福祉協議会 ☎56-6004

国民年金保険料の免除制度

国民年金には、経済的な理由などで保険料を納めることが困難な場合、保険料の納付が免除される申請免除制度があります。申請免除制度には、保険料の全額が免除される全額免除と、

保険料の一部を納付し残りの保険料が免除される一部納付があります。一部納付には、4分の1納付、半額納付、4分の3納付の3種類があります。

本人、配偶者、世帯主の前年の所得が一定額以下の場合に、全額免除または一部納付が認められます。

また、退職（失業）を理由とした特例免除もあります。
 問合せ先 市市民保険グループ ☎52-3104

松元ヒロライブショー（コント）

とき 11月30日 午後7時（開場午後6時30分）
 ところ 老人福祉会館
 入場料 500円
 対象者 中学生以上
 問合せ先 実行委員会 ☎090-4874-2538

参加しませんか ドラムサークル

とき 11月13日 午前11時
 ところ 緑ヶ丘保育園
 参加料は無料ですが、事前の申込が必要です。
 申込・問合せ先 おやさぽつくしんぼ（緑ヶ丘保育園内） ☎52-1700

夕張警察署からのお知らせ

北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
 12月10日～16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」
 日本人拉致事件をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされました。

問合せ先 夕張警察署 ☎52-0110

平成22年10月1日現在

人口	11,012人(- 30人)
男	5,138人(- 10人)
女	5,874人(- 20人)
世帯数	6,012世帯(- 11世帯)
	()は前月比

次号、12月号の広報ゆうばりは12月1日に配布します。